

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 神石高原町立神石中学校

教諭 伊竹 孝文 (T1)

教諭 和田 智行 (T2)

教諭 池田美由紀 (T3)

- 1 日時 平成25年5月30日(木) 5校時
- 2 学級 第2学年 9名(男子5名, 女子4名)
- 3 場所 2年生教室
- 4 単元名 神石中学校歴史探訪
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、地域についての横断的・探求的な学習を通して、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること」「情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表などの学び方やものの考え方を身に付けさせること」「問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てること」をねらいとしている。

今年度で45年の歴史に幕を下ろす神石中学校の歴史を題材に、どのような内容についてどのように調べるのかという課題や課題解決の方法を自ら見付け、習得させたい。また、調査研究した内容を新聞にして他者に伝えるという発信の機会をつくることで、課題解決の目的意識を明確にもたせたい。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、昨年度、「沖縄と神石の比較」というテーマで調査研究を行った。一人一人が課題を見付け、書籍から資料を収集して自分たちの今と比較するという学習をして、全員が調査研究をしてまとめ、発表した。また、一年時の国語科の学習では、先生を紹介するためのインタビューをしたり絵画を分析して鑑賞文を書いたりする学習などで、視点を定めてインタビューしたり、自分の考えを書いたりする学習を行った。

目的を明確に意識できた場面では意欲的に課題解決の方法を考えることができるが、そうでない場合にはなかなか取り組もうとしない生徒がいる。話を聞く場面でも、相手の話を聞くことよりも自分が話したい生徒が多い。また、課題に対して主体的に判断するために、友達の意見や先生から提示された情報などの複数の材料を収集して取捨選択する力に課題がある。また、幼い頃から固定化された人間関係の中で、発言力の強い生徒とそうではない生徒という生徒間での位置付けが意識の中に根強くある。

(3) 指導観

指導に当たっては、次の6点の工夫をする。

- ① 相手や目的を明確にもたせ、調査研究する内容や課題解決を自己決定させる場面をつくる。
- ② 思考場面で「シンキングツール」を活用し、個人思考の時間を保証する。
- ③ 小グループを活用して、個人思考した内容を交流する場面を設定し、自分の考えと他者の考えを比較し、認め合わせる。
- ④ 卒業した先輩や地域の人などから話を聞く活動の計画を立てさせる。
- ⑤ ゴール(発表方法)を明確に示す。
- ⑥ 学習の振り返りで、中学校統合をひかえた自分自身の今後の生活に、この学びをどう活かすかを考えさせる。

6 単元の目標

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2) 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表などの学び方やものの考え方を身に付けさせる。
- (3) 問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。

7 単元の評価規準

観点	興味・関心・態度 (発見する力)	情報収集能力 (調べる力)	問題解決能力 (考える力)	コミュニケーション 能力 (表現・活用)
単元 の 評 価 規 準	<ol style="list-style-type: none"> ① 神石中学校の歴史探訪をするという見通しをもち、主体的に課題を発見している。 ② 体験活動に必要なコミュニケーション技術を身につけようとしている。 ③ 知りたい内容を予めメモしておき、効果的なインタビューにしようとしている。 ④ よりよい発表方法や内容にするために自分の意見を出している。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 課題に沿ってどのような人に何を取材したいのか、どのように調査するのかを計画することができる。 ② 書籍やインターネットなどを使って必要な情報を集めることができる。 ③ 情報を取捨選択し、まとめることができる。 ④ 誰からどのような形で情報を得ることができるのか、効果的な調査方法を考えることができる。 ⑤ 必要な情報を引き出すために、質問や切り返しをすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 根拠を明確にして考えを出し合い、協同的な活動を通して相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。 ② 自分の知りたい情報を得るためにどのような質問をすればよいのかを具体的に考えることができる。 ③ 収集した情報を分類して整理することができる。 ④ まとめかたに対する改善案を出し合い、相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 電話対応の仕方や挨拶の基本などを理解し、挨拶などを行うことができる。 ② 友達と意見交流をしながら効果的にまとめることができる。

8 単元計画 (計28時間)

段階	月	時数	学 習 活 動	観点	評価規準 (評価方法)
調査研究の基礎	4月	2	○ 神石学の見通しをもち、聞き取りの計画を立てる。	興味・関心・態度	・ 神石中学校の歴史探訪をするという見通しをもち、主体的に課題を発見している。(観察・付箋)
		2	○ 先輩へのインタビュー計画を立てる。	情報収集能力	・ 課題に沿ってどのような人に何を取材したいのか、どのように調査するのかを計画することができる。(観察・ワークシート)

神石学 (神石中学校歴史探訪)	5月	4	○ テーマごとに収集した情報を比較しまとめる。	情報収集能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書籍やインターネットなどを使って必要な情報を集めることができる。(文章) ・ 情報を取捨選択し、まとめることができる。(文章)
		1	○ 収集した情報を整理し、まとめ、発表する。	情報収集能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を取捨選択し、まとめることができる。(観察)
	6月	1	○ マナー講座で基本的なマナーについて知る。	興味・関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験活動に必要なコミュニケーション技術を身につけようとしている。(観察・ワークシート)
		2	○ 先輩へのインタビュー・アンケートの準備をする。	情報収集能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰からどのような形で情報を得ることができるのか、効果的な調査方法を考えることができる。(ワークシート)
		4	○ 先輩にインタビューする。	興味・関心・態度 情報収集能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知りたい内容を予めメモしておき、効果的なインタビューにしようとしている。(観察・メモ) ・ 必要な情報を引き出すために、質問や切り返しをすることができる。(観察・インタビュー)
		4	○ 調査内容をまとめる。(本時2/4)	問題解決能力 問題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明確にして考えを出し合い、協同的な活動を通して相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。(観察・ワークシート) ・ 収集した情報を分類して整理することができる。(ワークシート・新聞原稿)
	2	○ 調査内容の交流をして、まとめ方の吟味をする。	問題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめかたに対する改善案を出し合い、相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。(観察) 	
	6	○ 発表計画を立てる。	興味・関心・態度 問題解決能力 コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい発表方法や内容にするために自分の意見を出している。(観察) ・ 効果的に伝えるための方法や内容を考えている。(付箋) ・ 友達と意見交流をしながら効果的にまとめることができる。(新聞原稿) 	

9 本時の展開

(1) 本時の目標

読者をひきつけるトップ記事の「見出し」について、編集会議で熟議し決定することができる。

(2) 本時の観点別評価規準

- 根拠を明確にして考えを出し合い、協同的な活動を通して相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。(問題解決能力)

(3) 準備物

- 電子黒板・ホワイトボード・ワークシート・付箋紙

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導 入 （ 5 分 ）	<p>1 前時の振り返り</p> <p>T 1 : 「前回のインタビューから決定した新聞記事の項目をトップ記事から順に発表してください。」</p> <p>○前時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューから決定した新聞記事の内容を確認させる。(各班の編集長に答えさせる) <p>T 1 : 「インタビューで分かったこと、先輩達が頑張ってきたことなどを新聞にして神石地域の人や郡内の中学生、HPを見た人たちに伝えましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習内容を想起させる。 ・ T 2 が電子黒板でこれまでの学習内容を視覚的に提示する。 ・ 新聞記事にして神石中学校の歩みをアピールすることを確認し、相手意識・目的意識を明確にする。 	
	<p>2 本時の学習内容</p> <p>○ 本時の目標を知る。</p> <p>T 1 : 「今日は、読者をひきつける『見出し』について考えます。」</p>		
	<p>○ 「見出し」のポイントを知る。</p> <p>T 3 : 「見出しとはどのようなものでしょう。」【教える】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T 2 が電子黒板を操作して示す。 	
	<p>読者をひきつける「見出し」を決めよう。</p>		
	<p>○ 「見出し」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌などで、内容の要点が一目で分かるように、本文の前につけた短い語句。 ・ 読者に記事の内容が一目でわかる 語句。 ・ 「面白そうだ!」「読みたい!」と読者をひきつける 語句。 		

展 開 （ 4 0 分）	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板で例を示しながら説明する。 	
-----------------------------	---	--

<p>読者をひきつける見出しのつけ方の指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 記事の内容が 一目でわかる言葉 ② 8～12文字 ③ 5W1Hのうち2つ以上含まれている ④ 漢字とかな文字のバランス

3 探究活動（グループ活動）

○ 記事を読んで見出しをつける。
T1：「各班のワークシートの記事に見出しをつけてもらいます。」

T2：「ワークシートの見出し欄に一人で、自分が考えた見出しを書きます。下にはそう考えた理由を三つ書いてください。その後、グループでどの見出しが一番ふさわしいか決めてもらいます。時間は全部で15分間です。」

○ 編集会議の流れを決める。
○ 個人思考で見出しと理由を書く。
【 読む 】 【 書く 】

自己決定

○ 編集長を中心に、グループでの見出しを決める。 共感的人間関係
【 話す 】 【 聞く 】

○ 見出しを決定し、その理由を発表できるよう、クラゲ・チャートに整理する。

T2：「自分で考えた見出しが決まったら、付箋に書いてください。編集長は全員が書いたらボードに貼って、各自の考えた見出しとその理由を交流してください。」

- T2, T3は生徒の様子を見る。
- 15分間の中で個人思考・集団思考をさせる。時間の配分を編集長に決めさせる。
- 話し合いの中で【共感的人間関係】をみとる。授業のまとめで指導者が評価するので、編集長の進め方や「努力を要する」生徒の発言・つまづきなどを意識して見る。

◆ T1が1班, T2が2班, T3が3班を中心に机間指導をする。書き進まない生徒には個別に「キーワード」を見つけて○で囲ませるなど、ヒントを与える。

- グループでの見出しはホワイトボードに書かせる。

- 根拠を明確にして考えを出し合い、協同的な活動を通して相手に効果的に伝えるための方法や内容を考えている。(観察・ワークシート)

<p>○編集長への指示内容</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、個人思考およびペア活動の場面を確保する。 ・出された意見に対して、質問や賛成や反対の立場からの意見などを付け加える。 ・キーワードをボードに整理しながら記録する。 ・キーワードから「見出し」について考える。 </div>
--

	<p>○クラゲ・チャートでの整理において期待されるメモ内容</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人をひきつける ・話の中で強調されていた ・今と比較 ・興味をもてる <p style="text-align: right;">など</p> </div>		
<p>まとめ (5分)</p>	<p>4 全体交流</p> <p>○ 本時の討議内容についてグループ毎に発表する。</p> <p>T 1 : 「各グループで決定した見出しを発表してください。」</p> <p>5 本時のまとめ</p> <p>○各グループでの討議内容と決定した見出しのポイントについて整理する。【 深化 】 自己存在感</p> <p>6 本時の振り返り，次時の予告</p> <p>○ 学習を振り返り，次時の課題を知る。</p>	<p>・ 「見出し」を決定した根拠を発表させる。</p> <p>・ T 1～3がそれぞれのグループの活動の様子，編集会議の進め方や発言内容など，【共感的人間関係】の視点で，短い言葉で評価する。</p> <p>・ 本時の振り返りをワークシートに書かせる。</p>	